２　医療費の動向

（１）一人当たり療養諸費*の状況

①　全国対比

平成 30 年度の北海道の一人当たりの療養諸費は 401,975 円で、全国の 367,989 円と比べて 1.09 倍で 33,986 円多くなっています。

表２　一人当たり療養諸費の推移

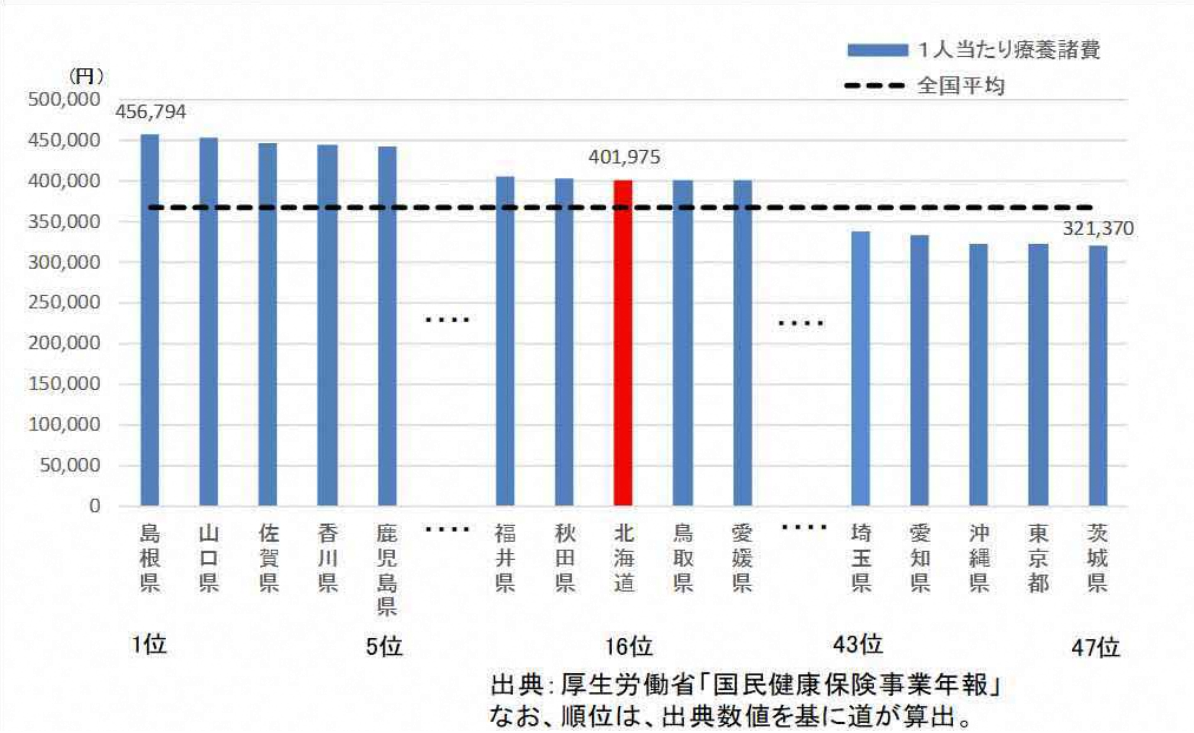
区分		H26	H27	H28	H29	H30
北海道		369,929円	383,551円	385,758円	397,562円	401,975円
	増減	1.6%	3.7%	0.6%	3.1%	1.1%
	全国対比	1.11倍	1.10倍	1.09倍	1.10倍	1.09倍
全　国		333,461円	349,697円	352,839円	362,159円	367,989円
	増減	2.7%	4.9%	0.9%	2.6%	1.6%

出典：厚生労働省「国民健康保険事業年報」
なお、増減及び全国対比は、出典数値を基に道が算出。

②　都道府県対比

平成 30 年度の一人当たりの療養諸費は、都道府県の中では、北海道（401,975 円）は 16 番目に高くなっており、一番低い茨城県（321,370 円）と比べて 1.25 倍で 80,605 円多くなっています。

図４　一人当たり療養諸費の全国比較（H30）



出典：厚生労働省「国民健康保険事業年報」
なお、順位は、出典数値を基に道が算出。

③　道内保険者対比

平成 30 年度の道内の一人当たりの療養諸費は、市町村では、占冠村が最低の 229,852 円なのに対し、初山別村がその 2.42 倍に当たる最高の 556,852 円となっており、327,000 円の差があります。

表３　一人当たり療養諸費（H30　道内市町村）

区分		最高	最低	対比
全体		初山別村 556,852円	占冠村 229,852円	2.42倍
	一般分	初山別村 556,852円	占冠村 229,852円	2.42倍
	退職分	秩父別町 3,907,852円	浦幌町 12,845円	304.23倍

厚生労働省「国民健康保険事業年報」の数値を基に道が算出。

④　診療種別医療費の現状

ア　入院

北海道の一人当たりの診療費は 170,227 円で、全国の 138,887 円の 1.23 倍で 31,340 円多くなっています。一日当たりの診療費は 37,568 円で、全国の 36,635 円よりも 933 円高く、一件当たりの日数は 15.70 日で全国の 15.90 日と比較して 0.20 日短く、100 人当たりの受診率*は 28.87 で、全国の 23.84 より高くなっています（表４及び表５参照）。

疾病分類別の寄与度*で見ると、「新生物」が 0.071 と一番高く、「神経系の疾患」が 0.031、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が 0.028、「循環器系の疾患」が 0.023、「精神及び行動の障害」が 0.010 の順に続いています（表６参照）。

なお、厚生労働省の平成 29 年患者調査によれば、北海道の人口 10 万人当たりの傷病分類別入院受療率では「循環器系の疾患」、「精神及び行動の障害」、「脳血管疾患」、「新生物」の順に受療率*が全国に比べて高くなっています（図５参照）。

表４　入院医療費の状況（H30）

	北海道	全国	差
一人当たりの診療費	170,227円	138,887円	31,340円
一日当たりの診療費	37,568円	36,635円	933円
一件当たりの日数	15.70日	15.90日	▲ 0.20日

厚生労働省「医療費の地域差分析」の数値を基に道が算出。

表５　受診率の状況（H30）　　（単位：100 人当たり件数）

区分	北海道	全国
計	1,002.34	1,062.87
入院	28.87	23.84
入院外＋調剤	809.77	850.03
歯科	163.70	189.00

厚生労働省「医療費の地域差分析」の数値を基に道が算出。

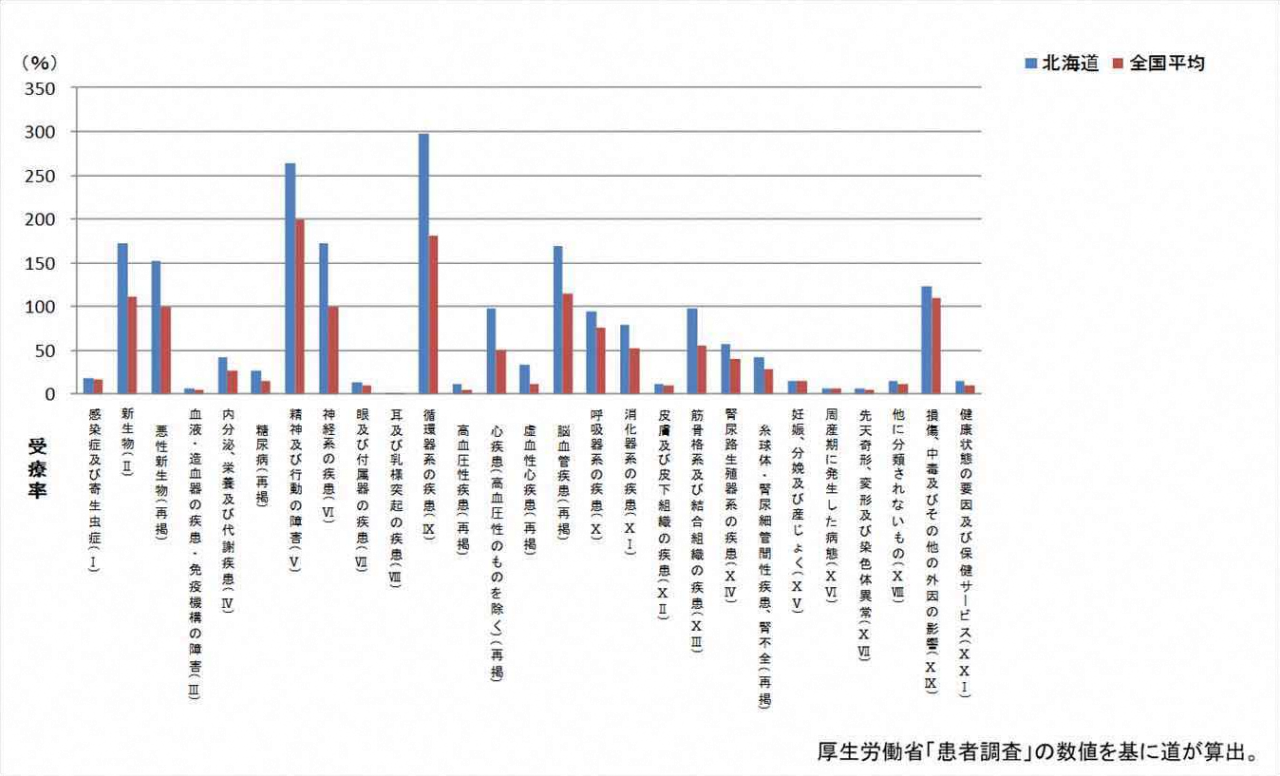
表６　地域差指数*の疾病分類別寄与度（H30　入院）

区　　分	疾病例	寄与度（降順）
新生物 （Ⅱ）	胃がん、大腸がん、肺がん	**0.071**
神経系の疾患 （Ⅵ）	パーキンソン病、てんかん	**0.031**
筋骨格系及び結合組織の疾患 （ⅩⅢ）	変形性膝関節症、腰痛	**0.028**
循環器系の疾患 （Ⅸ）	高血圧性疾患、心筋梗塞	**0.023**
精神及び行動の障害 （Ⅴ）	統合失調症、躁うつ病	**0.010**
損傷，中毒及びその他の外因の影響 （ⅩⅨ）	骨折、内臓損傷、火傷	0.009
消化器系の疾患 （ⅩⅠ）	胃潰瘍、十二指腸潰瘍	0.007
眼及び付属器の疾患 （Ⅶ）	結膜炎、白内障	0.002
妊娠，分娩及び産じょく （ⅩⅤ）	妊娠、分娩の異常	0.002
感染症及び寄生虫症 （Ⅰ）	結核、ウィルス性肝炎	0.001
内分泌，栄養及び代謝疾患 （Ⅳ）	糖尿病、糖代謝異常	0.001
腎尿路生殖器系の疾患 （ⅩⅣ）	腎不全、尿路結石、前立腺肥大	0.001
呼吸器系の疾患 （Ⅹ）	肺炎、慢性閉塞性肺疾患	0.001
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（Ⅲ）	鉄欠乏性貧血	0.001
先天奇形，変形及び染色体異常 （ⅩⅦ）	心房中隔欠損症、胆道閉鎖症	0.001
周産期に発生した病態 （ⅩⅥ）	胎内感染、多胎	0.001
症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの （ⅩⅧ）	アレルギー性疾患	0.001
耳及び乳様突起の疾患 （Ⅷ）	中耳炎、メニエール病	0.000
皮膚及び皮下組織の疾患 （ⅩⅡ）	皮膚がん、アトピー性皮膚炎	0.000
計		**0.191**

出典：厚生労働省 「医療費の地域差分析」

※区分欄のローマ数字は「社会保険表章用疾病分類*」における分類コード。

図5　人口 10 万人当たりの傷病分類別入院受療率（H29）



イ　入院外（調剤医療費を含み、歯科を除く）

北海道の一人当たりの診療費は 197,230 円で、全国の 191,271 円の 1.03 倍で 5,959 円高くなっています。一日当たりの診療費は 16,918 円で、全国の 14,590 円より 2,328 円高く、一件当たりの通院日数は 1.44 日で、全国 1.54 日を 0.10 日下回っています（表７参照）。

なお、厚生労働省の平成 29 年患者調査によれば、北海道の人口 10 万人当たりの傷病分類別外来受療率では、ほとんどの疾患で全国よりも下回る状況になっています。

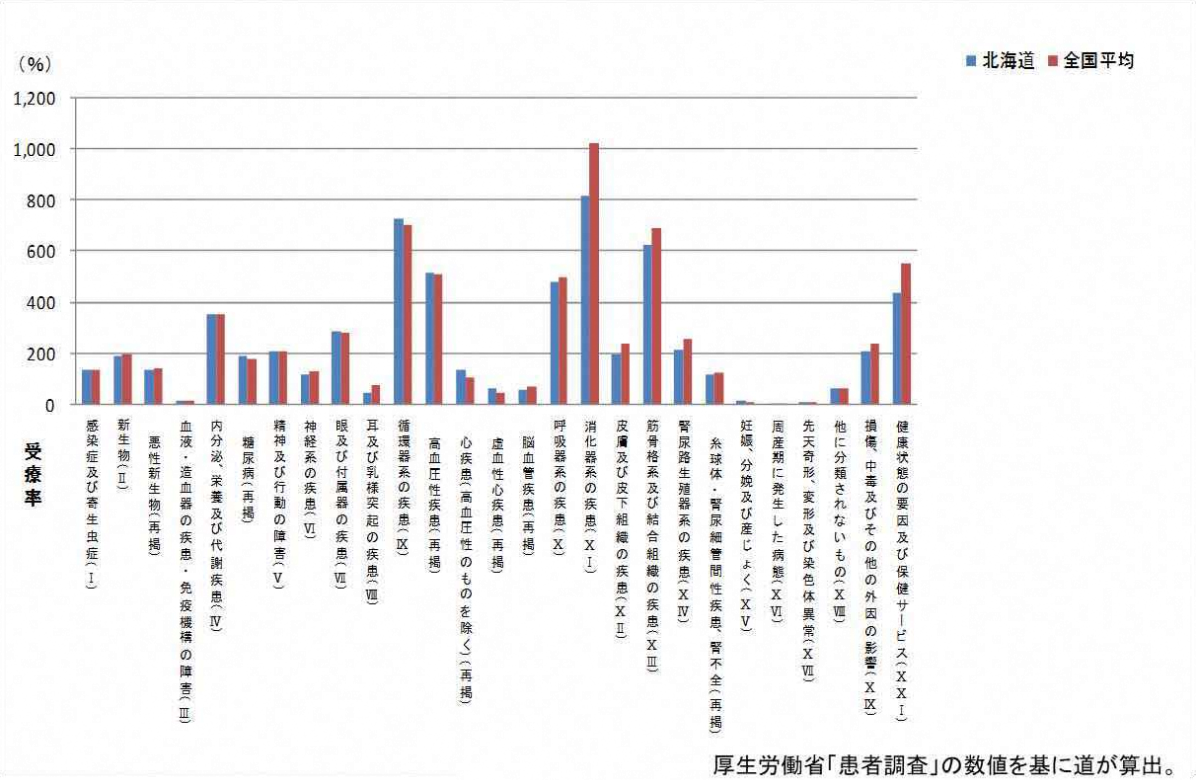
また、「消化器系の疾患」、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」の順に高くなっています（図６参照）。

表7　入院外医療費の状況（H30）

	北海道	全国	対比・差
一人当たりの診療費	197,230円	191,271円	5,959円
一日当たりの診療費	16,918円	14,590円	2,328円
一件当たりの通院日数	1.44日	1.54日	▲ 0.10日

厚生労働省「医療費の地域差分析」の数値を基に道が算出。

図6　人口 10 万人当たりの傷病分類別外来受療率（H29）



厚生労働省「患者調査」の数値を基に道が算出。

ウ　歯科

北海道の一人当たりの診療費は 24,921 円で、全国の 24,183 円の 1.03 倍で 738 円高くなっています。一日当たりの診療費は 7,609 円で、全国の 7,035 円より 574 円高く、一件当たりの通院日数は 2.00 日で、全国の 1.82 日を 0.18 日上回っています。

表8　歯科医療費の状況（H30）

	北海道	全国	対比・差
一人当たりの診療費	24,921円	24,183円	738円
一日当たりの診療費	7,609円	7,035円	574円
一件当たりの通院日数	2.00日	1.82日	0.18日

厚生労働省「医療費の地域差分析」の数値を基に道が算出。

（２）二次医療圏*別一人当たり医療費の状況

北海道の医療費が高い要因の一つとして、入院の受診率や推計新規入院発生率*が全国に比べて高いことがあげられます（表５及び表９参照）。

まず、二次医療圏域ごとの医療費の状況を見ると、入院、入院外（調剤を含む）及び歯科の合計では、全国平均が 372,444 円であるのに対し、西胆振、上川北部、富良野、留萌、遠紋、十勝及び根室以外の 14 圏域で全国平均を上回っています（図７参照）。

また、入院医療費の状況を見ると、西胆振、留萌、十勝及び根室圏域で全国平均を下回っていますが、特に、北渡島檜山、後志、中空知及び宗谷の４圏域では、全国平均の 1.3 倍以上となっているなど、二次医療圏域で差が生じている現状にあります（図８参照）。

入院外医療費については、中空知と東胆振で全国平均を大きく上回っていますが、南檜山、北渡島檜山、札幌、西胆振、上川北部、富良野、留萌、遠紋、十勝及び根室の 10 圏域で全国平均を下回っています（図９参照）。

歯科医療費については、札幌、後志、中空知及び北空知の４圏域で全国平均を大きく上回っていますが、南渡島、南檜山、北渡島檜山、西胆振、上川中部、上川北部、富良野、留萌、遠紋及び根室の 10 圏域で全国平均を下回っています（図 10 参照）。

年齢階級別の推計新規入院発生率の状況を見ると、北海道の場合、０歳から４歳までの乳幼児や 60 歳以上の被保険者の発生率が特に高くなっているほか、いずれの年齢階級別で見ても全国を上回っています（表９参照）。

図7　二次医療圏域別一人当たり医療費（H29　合計）

図８　二次医療圏域別一人当たり医療費（H29　入院）

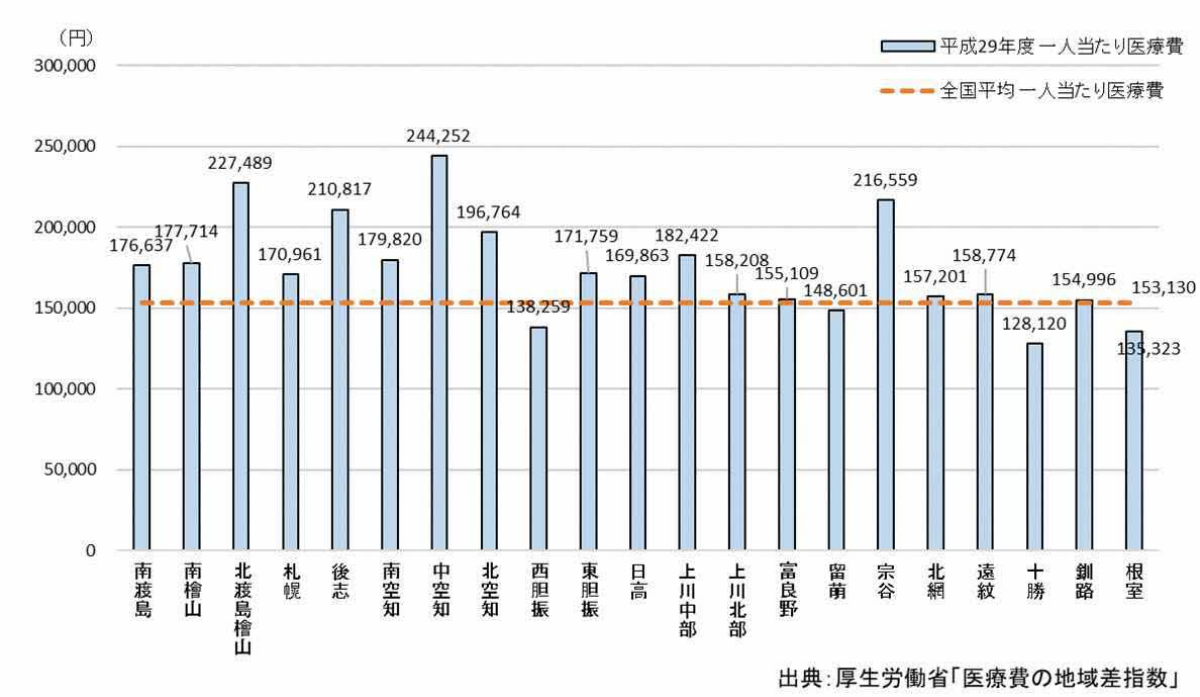


図９　二次医療圏域別一人当たり医療費（H29　入院外）

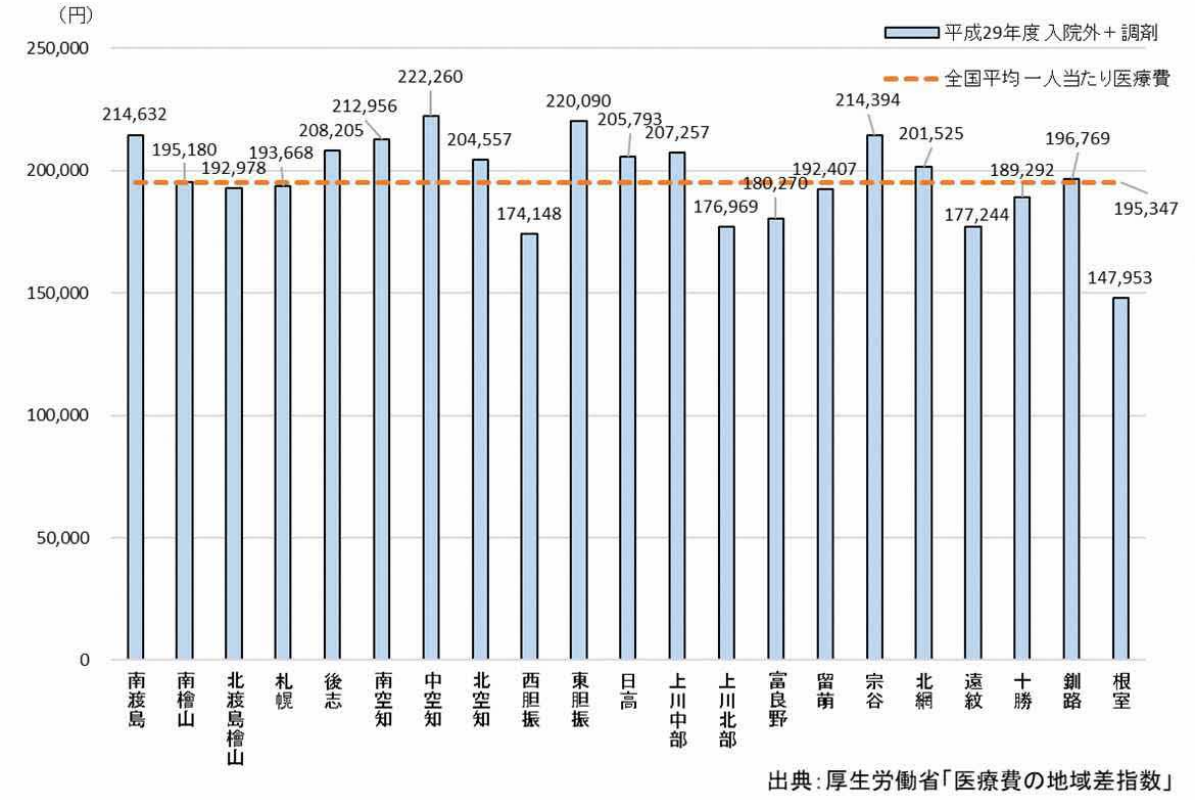


図 10　二次医療圏域別一人当たり医療費（H29　歯科）

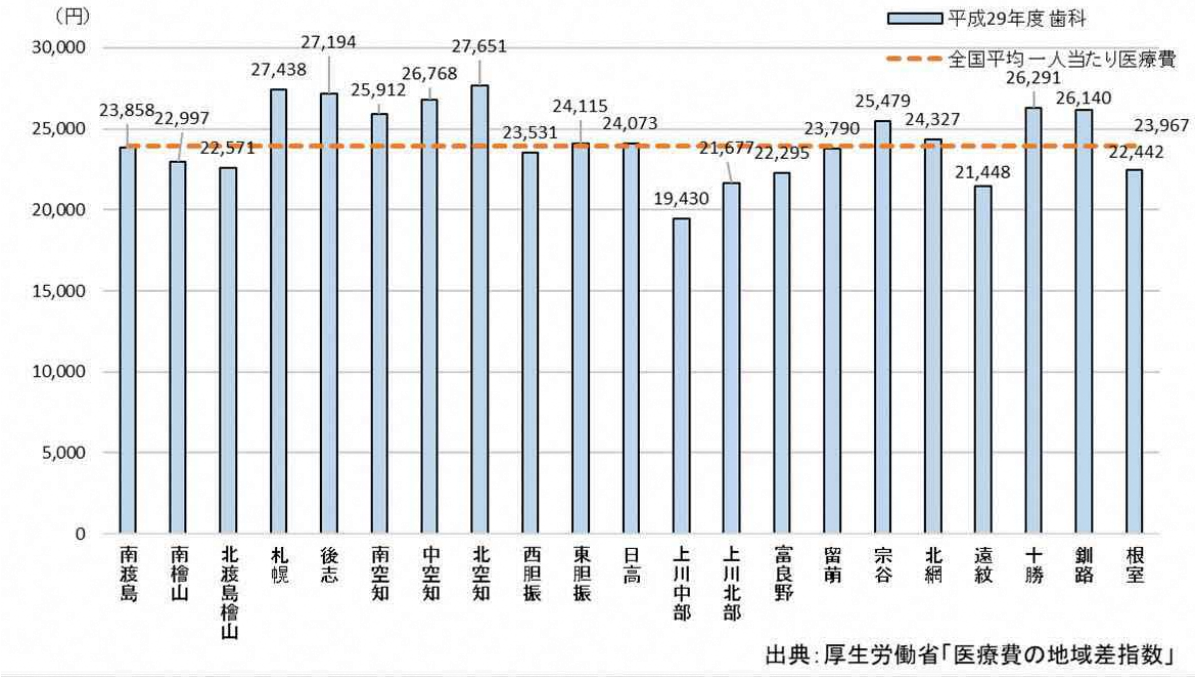


表９　年齢階級別、推計新規入院発生率の推移　（単位：100 人当たり件数）

区分	北海道				全国			
年度	H23	H24	H25	H26	H23	H24	H25	H26
年齢計	13.0	13.0	13.4	13.5	10.6	10.8	10.9	11.1
0～4歳	25.6	24.4	24.7	24.9	16.2	16.2	16.3	16.5
5～9歳	5.0	4.8	4.8	4.6	3.6	3.6	3.4	3.4
10～14歳	3.1	3.1	3.3	3.0	2.5	2.4	2.4	2.5
15～19歳	3.5	4.0	3.9	3.9	3.1	3.2	3.2	3.2
20～24歳	5.9	5.8	5.7	5.8	4.4	4.4	4.4	4.3
25～29歳	7.2	7.1	7.4	6.9	5.4	5.5	5.5	5.4
30～34歳	7.0	7.2	7.3	7.3	5.9	6.0	5.9	6.0
35～39歳	6.8	6.7	6.7	6.8	5.5	5.7	5.8	5.8
40～44歳	6.9	6.9	6.9	6.8	5.4	5.5	5.5	5.6
45～49歳	7.7	7.8	8.0	7.9	6.3	6.4	6.3	6.4
50～54歳	9.5	9.5	9.6	9.6	7.7	7.9	7.9	8.0
55～59歳	11.0	11.4	11.7	11.6	9.2	9.5	9.5	9.6
60～64歳	14.4	14.3	14.3	14.1	11.7	12.0	11.8	11.8
65～69歳	16.8	16.3	16.6	16.9	14.7	14.7	14.6	14.6
70～74歳	23.5	23.2	23.7	23.1	20.3	20.2	20.2	20.2

出典：厚生労働省 「医療費の地域差分析」